

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	各部構法計画小委員会	主 査 名：小西敏正 就任年月：2002 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生 主 査 名：
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・各部構法の実態を把握し、問題点を整理するため、先進的、特徴的な構法を用いた建築物の見学会を実施する。 ・建築部品の多様化の中でのディテール設計を考える勉強会(講演会)を開催する。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：小西敏正(宇都宮大学) 幹事：大島隆一(小山高専) 幹事：名取発(東京大学大学院) 大野隆司(東京工芸大学) 松村秀一(東京大学) 脇山善夫(建築研究所) 南一誠(芝浦工業大学) 小見康夫(武蔵工業大学) 門脇耕三(首都大学東京)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築病理学研究ワーキンググループ：既存建物に見られる様々な症状の分類方法、症状の原因、対処法を検討し、出版物を企画。	
2005 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s2/

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. ミニ講演会 1、6/17：参加者数 18 名 「西田 司 氏のディテールに関する講演会」 2. ミニ講演会 2、12/19：参加者数 10 名 「南一誠先生、音楽ホールの防振・防音設計のディテール」 3. 現場見学会 1、9/24：参加者数 5 名 「明治生命館(重要文化財)リニューアル工事」 4. 現場見学会 2、10/26：参加者数 33 名 「清瀬旭ヶ丘団地リニューアルエコ・リニューアル DIY 施工実験住宅」 5. 現場見学会 3、1/24：参加者数 53 名 「階段一体型エレベータ試作実験・階段室型住棟改修システム HC」 6. 現場見学会 4、3/8：参加者数 18 名 「国立新美術館施工見学」
大会研究集会	なし

対外的意見表明・パブリックコメント等	特になし
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 見学会の実施 実施回数は当初の計画通り、4回開催でき改修工事等の先進的な事例を見学することができた。</p> <p>2. 各部構法に関する講演会 ディテールに力を入れている設計者を講師として招き、当初の計画通り、2回のミニ講演会を開催することができた。</p>
委員会活動の問題点・課題	特になし

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。